

JLIA-B-2

圧 力 調 整 器

昭和57年 5月 制定
平成 元年 1月 改正
平成 8年 3月 改正
平成 9年10月 追補
平成18年12月 改正

(社)日本エルピーガス供給機器工業会

東京都港区虎ノ門 2-5-2 エアチャイナビル

TEL : 03-3502-1361 FAX : 03-3593-0758

(社) 日本エルピーガス供給機器工業会
技 術 委 員 会 (調整器分科会)

	(氏 名)	(所 属)
技術委員長	井 出 登	矢崎総業株式会社
分科会主査	西 野 博 夫	伊藤工機株式会社
委 員	川 手 靖 夫	株式会社 桂精機製作所
委 員	中 村 泰 三	株式会社 神 菱
委 員	長谷川 義 行	〃
委 員	山 本 秀 明	〃
委 員	加 藤 正 巳	株式会社 にっしん
委 員	山 崎 義 彦	富士工器株式会社
委 員	竹 内 雅 彦	株式会社 穂高製作所
委 員	藤 原 敏 永	〃
委 員	鈴 木 年 彦	矢崎計器株式会社
委 員	木 下 一 之	リコーエレメックス株式会社
委 員	川 戸 保	株式会社 ロック製作所

はじめに

この「圧力調整器」は、平成 8 年 3 月に「JLIA-B-2（液化石油ガス圧力調整器点検基準）」と「JLIA-B-4（一体型自動切替式圧力調整器点検基準）」に分冊されていたものを、「JLIA-B-2（圧力調整器）」とし新たに編集された。その後、10 年経過したが、その間 SI 単位化に伴う省令改正、バルク貯槽の普及など調整器を取り巻く環境も大きく変化したことから、内容の見直しと充実を図るとともに、分冊されていた「JLIA-B-1(液化石油ガス用大型圧力調整器維持管理基準)」の内容を加味してこの一冊にまとめる事とした。

主な改正ポイントは、液化石油ガス法改正に伴う基準の改訂、ガス放出防止弁内蔵調整器（バルク用調整器）関連事項の追加、製品保証に関する事項、その他各項目にわたって見直しと充実を図った。また、今後改正が容易に行えるよう電子化するとともに、部分的にコピーして研修会用テキスト、マニュアル等として活用できる構成とした。

LP ガスが日本の家庭で本格的に使われ始めたのが昭和 28 年ごろであり、今年で 54 年経過したことになる。また調整器メーカーも時を同じくして次々産声を上げた。当初の生産数は統計が無いので掴めないが、(財)日本エルピーガス機器検査協会が昭和 44 年調整器の検査を開始してから、31 年後の平成 12 年には検定合格数が一億台を突破しており、平成 17 年には 10,700 万台に達している。その間様々な人が、調整器の品質向上、新製品開発に携わってきた。しかし、近年の異常気象とも言える風水害の増加、住宅事情の変化に伴う落雪事故など調整器を取り巻く環境は時代とともに変化しており、調整器メーカー各社はそれらに対応した改良と新製品開発に努力している。また、LP ガス代替燃料として、DME（ジメチルエーテル）が脚光を浴びており、LP ガスの価格高騰とともに現実のものとなりつつある、これらに対する研究も今後の課題である。

この小冊子が、供給機器メーカー並びに販売事業者の皆さんに、僅かでもお役に立てれば誠に幸いである。

最後に、改正にあたって調整器分科会委員各位及び供給機器工業会事務局並びにご協力頂いた関係各位に対し、深く感謝申し上げます。